

2016年度 研究室配属について

今年度も「水圏・大気圏環境研究室（矢内・小田研究室）」として、研究室配属を行います。水圏環境研究室 HP も併せて見ておいてください。

<http://www.le.it-chiba.ac.jp/yauchi/home.htm>

●研究室見学について

本研究室への配属を希望し、研究室を訪問したい学生は随時対応（平日のみ）しますので、事前にメール連絡をしてください。メールには以下の内容を含んでください。

- 氏名・学生番号
- 何名での訪問か
- 訪問希望（可能）日時（訪問できる日を数日分記載）

※皆さんからのメールには、必ず返信をしています。数日経っても小田からの返信がない場合は、皆さんのメール（特に携帯メール）の設定で着信拒否になっている場合がほとんどですので、「自分のメールの設定を確認する」「電話連絡を試してみる」など、各自で対応を検討してください。

●自己アピール書類について

第一次研究室配属では，自己アピール書類を提出のうえ，面談により決定します．以下の件は，水圏・大気圏環境研究室共通です．

◆ 自己アピール書類について

① 希望テーマ

- ・ やりたいテーマ2種類（水圏・大気圏各1）
- ・ 研究に対するアイデア 一新テーマ（斬新なアイデア）を考案してOK

② 就職希望先

- ・ 進学の有無

③ その他

- ・ 特技や話題にしたいことなど，なんでも

◆ 面談予定日について

- ✓ 9月5日（月）or 9月6日（火）とします．2分間スピーチを準備しておいてください．
- ✓ 時間は個別に連絡するので，8月31日（水）までに矢内先生宛にメールで問い合わせてください（担任のHPを参照のこと）．他の日を希望する場合にも，同様にメールで相談してください．

●履修科目について

矢内・小田研を希望する学生は、下記科目を履修してきてください。卒業研究の実施に際しては、研究内容に深く関連する学部講義科目の内容を理解していることが必要となります。下記のうち履修していない科目は、研究室配属後に履修してもらえば結構です。

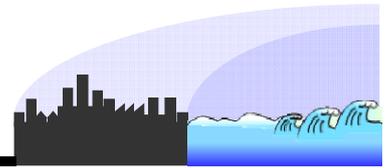
- 大気環境学（4S）
- 環境防災学（4S）
- 環境計測法（5S）
- 環境水理学（5S）
- 環境法規（6S*）
- ハイドロインフォマティクス（6S*）

※6S 開講科目については、前期の事前履修期間内において履修登録しておくこと。

●研究室紹介 PDF

担任の HP にも掲載される「研究室紹介」の内容です。大気圏環境研究室の HP 内容と合わせ、目を通しておいてください。

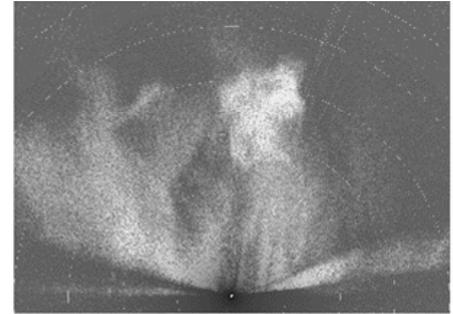
小田研究室（大気圏環境研究室）



担当教員： 小田僚子 准教授
連絡先： 津田沼校舎 1号館 7階 705, 706号室
E-mail： ryoko.oda@p.chibakoudai.jp
TEL： 047-478-0408
URL： <http://www.le.it-chiba.ac.jp/oda/index.html>

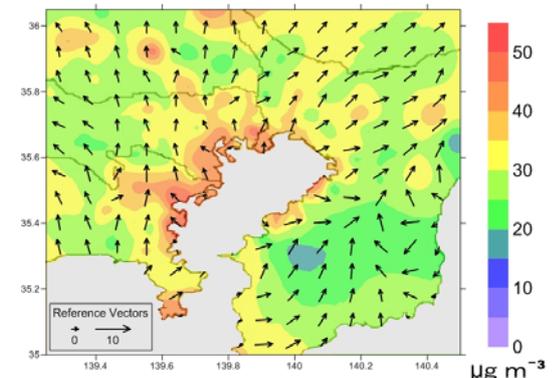
研究内容：都市気象，沿岸気象，水工水理学

近年の都市化に伴い，日本の首都圏をはじめ世界各地でヒートアイランドや集中豪雨といった都市特有の大気環境問題が顕在化しており，それらの現象の解明および対策が急務となっています。当研究室では，主に都市大気に着目した研究を，「屋外大気観測」や「気象数値シミュレーション」といった手法により，気象学のみならず水文学・土木工学など関連する分野と併せて学際的に取り組んでいきます。



-150 10 (dBm)

船舶レーダーによる対流性降雨の鉛直構造（白色が濃いほど降雨エコー強度が強い）



首都圏の浮遊粒子状物質濃度と風系場

<最近の研究テーマ>

- 船舶レーダーを活用した降雨形態の鉛直観測
- 屋外カメラを用いた局地的大雨をもたらす積乱雲消長プロセスの解明
- ドップラーライダー観測に基づく都市大気構造の実態把握
- 都市上空の花粉や浮遊粒子状物質の空間分布の特徴
- 熱ストレス評価指標 WBGT による暑熱環境評価
- メソ気象モデル WRF を用いた首都圏の気象場解析
- 干潟による熱緩和効果の実態把握

研究課題は，各自の希望をヒアリングした上で決定したいと思います。研究活動を通して，単なる興味から知識へ，そして未解明の現象解明に取り組むアプローチ手法を身につけていきます。

● 研究室活動

研究室の募集・研究室活動は，水圏環境研究室（矢内研）と合同で実施します。

3年生後期の卒業研究準備実験・ゼミナール1では，論文作成・研究発表に必要なソフトウェアの使い方や簡単なプログラミング手法の習得を目指した演習，観測およびデータ解析演習を実施します。4年生になるとセミナーが週1回行われます。その他，研究内容については適宜個別に相談・打合せを行っていきます。

セミナー：各自の研究課題の進捗状況や成果を発表し，その内容について議論します。これにより研究の意義・方向性・問題点などを明確にしていくと共に，プレゼンテーション能力を養います。

● 研究室訪問が可能な曜日・時間帯

随時対応します。訪問日時を調整するため，必ず事前にメール連絡をしてください。その際は，訪問予定人数と訪問可能な日時をいくつか提示してください。また，事前に研究室 HP を見ておいてください。

● その他

- ✓ 研究活動を遂行する上で，自主性・協調性は重要な要素です。物事を要領良くこなすこと（≠テキトー）は大事ですが，真面目な人が損をしないような評価をしていきたいと思っています。
- ✓ 他大学や他機関とも共同して最先端の研究に取り組んでいます。大学院への進学を推奨します。